

TAISEI

Circle

たいせいサークル

2005年度中間事業報告書



株主の皆様へ

社長 葉山 堯 児



株主の皆様におかれましては、平素よりご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

建設業界を取り巻く経営環境は、依然として建設投資の縮小は続いておりますが、企業収益の改善を背景に民間建設需要は堅調に推移しており、厳しさのなかにも明るさが見られるようになりました。このようななかで当社グループは2004年度より中期経営計画をスタートし、「攻め」の経営を推進することによって成果をあげてまいりました。

当社は都市開発、エンジニアリング等の分野では業界随一の実績を誇っております。大手建設会社間の競争はますます激しくなっていますが、当社は総合力で競争を勝ち抜き、ナンバーワンの受注と利益、最高水準の技術と品質を達成することをめざしております。

中期経営計画の中間年度にあたる2005年度は、「受注の拡大」「収益力の強化」「新たな生産体制の構築」の3点に重点をおいて取り組んでおります。

当社は経営体質の改善を進め、さらに魅力ある会社を創り上げていきます。このことが建設業を魅力ある産業とするために、業界のリーダーとして当社が推進すべき構造改革であると考えております。

なお、財務体質の改善効果により当期純利益を安定的に確保できる態勢が整ったこと、通期の業績が当初予定より好転する見通しであること、経営環境に一部明るさが見られるようになったことなどを総合的に勘案し、当期の配当につきましては、当初予定より1円増配し、1株当たり年6円の普通配当を実施させていただく予定です。これに伴い中間配当金は、1株当たり3円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

当上半期のわが国経済は、好調な企業部門が家計部門の改善を促し、踊り場を脱して拡大基調に入りました。建設業界におきましては、予算の削減などに伴い公共投資は低迷しましたが、製造業を中心に幅広い業種で活発な設備投資が行われたことにより、民間建設投資は好調に推移しました。

このようななかで、当社は中期経営計画に基づき、受注の拡大と利益の確保、経費の削減等に全力をあげて取り組みました結果、受注高につきましては、前年同期比4.0%増の6,847億円となりました。その内訳は、建設事業97.4%、開発事業等2.6%で、さらに建設事業の内訳については、土木・建築の割合は、19.5%、80.5%、官公庁・民間・海外の割合は、18.3%、74.8%、6.9%であり、特命比率は45.1%です。

売上高につきましては、前年同期比18.0%増の5,622億円となりました。その内訳は、建設事業96.4%、開発事業等3.6%です。この結果、当下半年期への繰越高は1兆8,075億円となり、前年同期比0.9%増となっています。

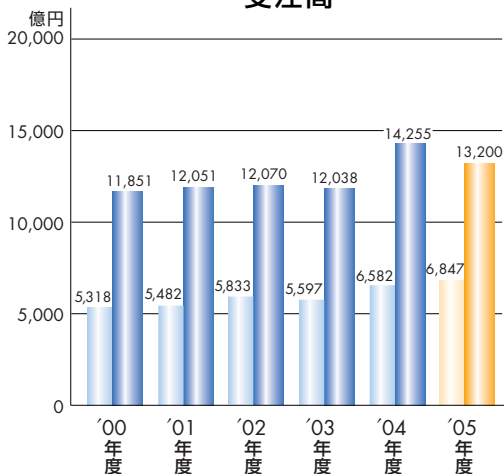
利益につきましては、売上総利益の減少により、経常利益は前年同期比14.5%減の78億円、中間純利益につきましては、前年同期比34.6%減の32億円となりました。

なお、連結ベースでの上半期の受注高は8,481億円、売上高は6,972億円となり、経常利益は42億円、中間純利益は22億円となりました。

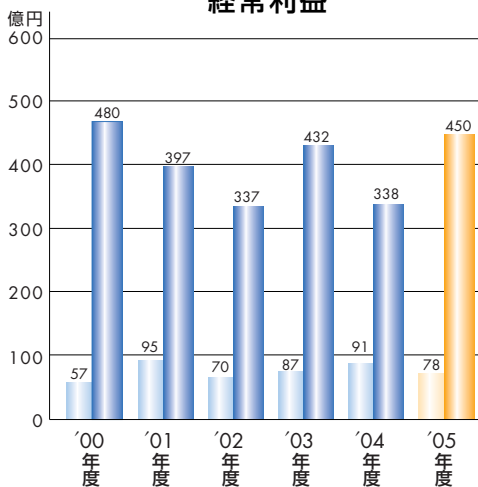
● 単体

*2005年度通期は見通し。

受注高

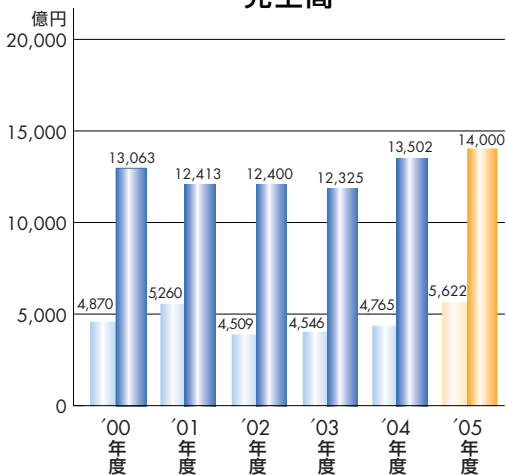


経常利益

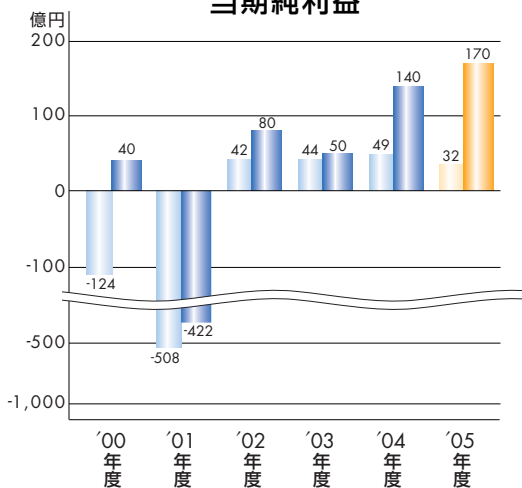


■ 通期 ■ 中間期

売上高



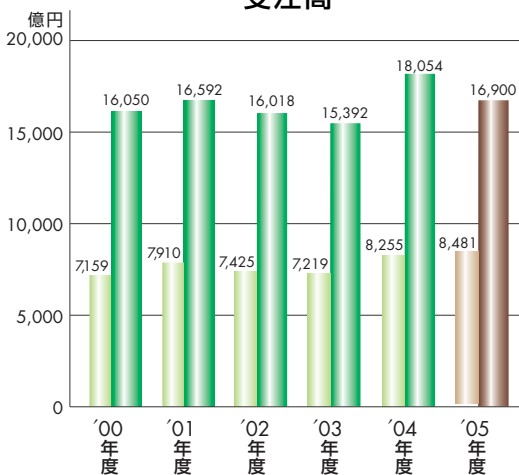
当期純利益



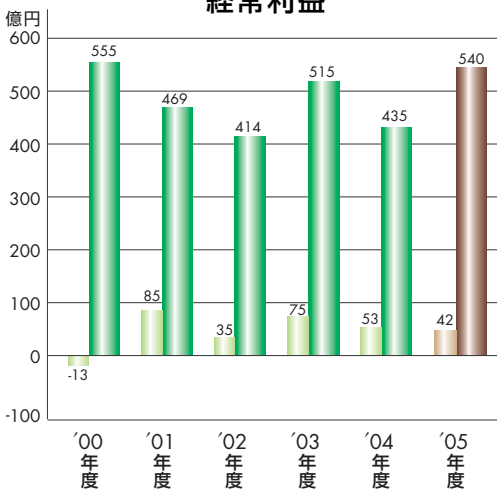
● **連結** (連結子会社50社 持分法適用関連会社9社)

*2005年度通期は見通し。

受注高

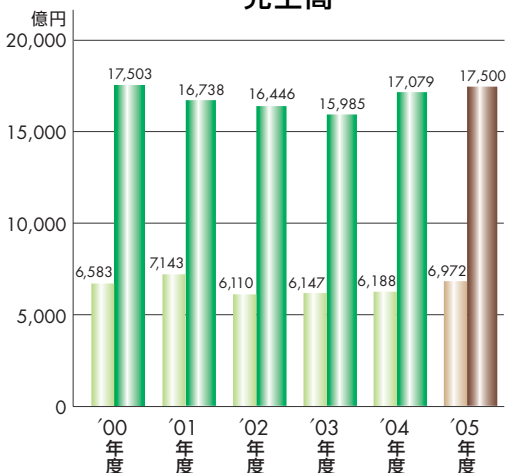


経常利益

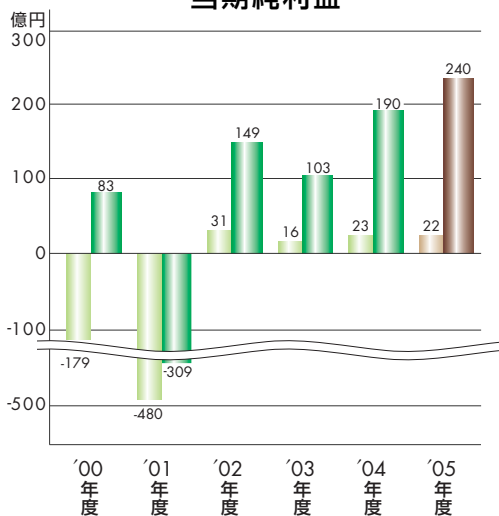


■■■■ 通期 ■■■■ 中間期

売上高



当期純利益



2005年度中間決算のご報告

F I

● 貸借対照表の要旨

(2005年9月30日現在)

(単位:億円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	8,477	流動負債	9,297
現金預金	811	支払手形	361
受取手形	151	工事未払金	2,970
完成工事未収入金	2,313	短期借入金	1,772
販売用不動産	740	一年以内償還の社債	100
未成工事支出金	3,018	未払法人税等	4
開発事業等支出金	242	未成工事受入金	2,722
その他	1,203	預り金	1,099
貸倒引当金	△2	完成工事補償引当金	16
固定資産	6,431	工事損失引当金	79
有形固定資産	1,513	その他	170
土地	1,013	固定負債	2,745
その他	500	社債	850
無形固定資産	75	長期借入金	1,474
投資その他の資産	4,842	退職給付引当金	171
投資有価証券	2,781	役員退職慰労引当金	13
その他	2,343	関係会社投資等損失引当金	86
貸倒引当金	△283	その他	148
資産合計	14,909	負債合計	12,042
		資本の部	
		資本金	1,124
		資本剰余金	794
		資本準備金	417
		その他資本剰余金	376
		利益剰余金	443
		任意積立金	355
		中間未処分利益	88
		株式等評価差額金	505
		自己株式	△1
		資本合計	2,866
		負債資本合計	14,909

(注) 1. 関係会社に対する短期金銭債権 120億円
 関係会社に対する長期金銭債権 551億円
 関係会社に対する短期金銭債務 530億円
 関係会社に対する長期金銭債務 2億円

2. 担保に供している資産

販売用不動産 7億円
 投資有価証券 0億円
 投資その他の資産・その他 7億円

計 16億円

3. 保証債務額 157億円

4. 有形固定資産の減価償却累計額 623億円

● 損益計算書の要旨

(2005年4月1日から
2005年9月30日まで)

(単位:億円)

経常損益の部	
営業損益	
売上高	5,622
完成工事高	5,420
開発事業等売上高	202
売上原価	5,253
完成工事原価	5,045
開発事業等売上原価	207
売上総利益	369
完成工事総利益	374
開発事業等売上総利益	△5
販売費及び一般管理費	314
営業利益	55
営業外損益	
営業外収益	62
受取利息配当金	47
その他	14
営業外費用	39
支払利息	30
その他	8
経常利益	78
特別損益の部	
特別利益	16
特別損失	31
関連事業損失	27
その他	3
税引前中間純利益	62
法人税、住民税及び事業税	△0
法人税等調整額	31
中間純利益	32
前期繰越利益	56
中間未処分利益	88

- (注) 1. 工事進行基準による完成工事高 2,482億円
 2. 売上高のうち関係会社に対する部分 148億円
 3. 売上原価のうち関係会社からの仕入高 504億円
 4. 関係会社との営業取引以外の取引高 5億円
 5. 一株当たりの中間純利益 3円02銭

2005年度中間連結決算のご報告

● 連結貸借対照表の要旨

(2005年9月30日現在)

(単位:億円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	10,099	流動負債	10,758
現金預金	1,102	支払手形・工事未払金等	3,865
受取手形・完成工事未収入金等	2,865	短期借入金	2,475
未成工事支出金等	3,417	一年以内償還の社債	120
たな卸不動産	1,411	未成工事受入金	2,959
その他	1,310	預り金	959
貸倒引当金	△9	完成工事補償引当金	24
固定資産	7,356	工事損失引当金	81
有形固定資産	3,067	その他	273
建物・構築物	979	固定負債	3,641
土地	1,891	社債	860
その他	196	長期借入金	1,921
無形固定資産	117	退職給付引当金	371
投資その他の資産	4,171	役員退職慰労引当金	20
投資有価証券	2,935	その他	468
その他	1,324	負債合計	14,400
貸倒引当金	△88	少数株主持分	
資産合計	17,455	少数株主持分	280
		資本の部	
		資本金	1,124
		資本剰余金	794
		利益剰余金	306
		土地再評価差額金	23
		株式等評価差額金	540
		為替換算調整勘定	△13
		自己株式	△1
		資本合計	2,774
		負債、少数株主持分及び資本合計	17,455

● 連結損益計算書の要旨

(2005年4月1日から
2005年9月30日まで)

(単位:億円)

経常損益の部	
営業損益	
売上高	6,972
完成工事高	6,074
開発事業等売上高	898
売上原価	6,390
完成工事原価	5,636
開発事業等売上原価	754
売上総利益	582
完成工事総利益	438
開発事業等売上総利益	144
販売費及び一般管理費	553
営業利益	28
営業外損益	
営業外収益	62
受取利息配当金	43
その他	18
営業外費用	48
支払利息	38
その他	9
経常利益	42
特別損益の部	
特別利益	22
前期損益修正益	18
その他	4
特別損失	6
税金等調整前中間純利益	59
法人税、住民税及び事業税	7
法人税等調整額	27
少数株主利益	1
中間純利益	22



国定公園内の山岳地域で、 貴重な湿地のミティゲーション

湿地の埋立工事と湿地復元工事を同じ敷地内で 同時に行った日本で初めてのプロジェクト

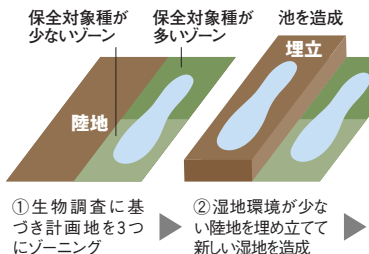
福島県・新潟県に広がる、越後三山只見国定公園のなかで、美しい山々に囲まれた唯一の湿地環境。ここに奥只見・大鳥発電所の地下発電所増設工事によって大量に発生する掘削岩を埋立処分することが決まり、代替地に湿地を復元するミティゲーションが計画されました。

しかし、工事区域が国定公園内にあるため周囲の改変が難しく代替地の確保が困難。そこで埋立工事と湿地の復元を同じ敷地内で同時に行うという、日本でもおそらく初めてのプロジェクトがスタートしたのです。

工事開始までの2年間にわたる生態系の調査に基づき、保全対象種の少ない陸地部分を先行して埋め立てて、その上に湿地を復元。既存湿地と復元湿地

段階的埋立の方法

敷地を段階的に埋め立てることで、
湿地生態系の復元を図った。



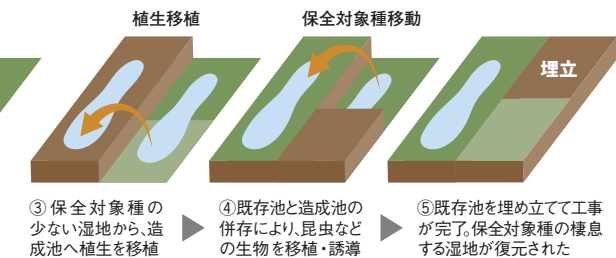


ミズドクサなどの貴重な水生植物やムツアカネなどの希少トンボの個体数も増加し、新しい環境への活着が確認された

を長期間併存させることで、より安定的に生態系の移植を図る段階的埋立手法を採用しました。さらに着工後も生態系を常にモニタリングしながら3年の歳月をかけて湿地環境を復元しました。

湿地完成後2年間にわたる調査によって、希少種の個体数増加が確認されるなど、湿地の生物が新しい環境に順応していることがわかりました。このプロジェクトは「平成16年度土木学会賞・環境賞」を受賞。従来、その立地条件から埋立対象にされやすかった湿地の生態系保全に有効な手法として大きな注目を集めています。

「大成建設環境・社会報告書2005」ご希望の方は、info@eco.taisei.co.jpまでご連絡ください。追って送付いたします。



伝統ある香港競馬に新たな息吹 しゃていん 沙田競馬場がリニューアルオープン

香港の競馬は英国統治時代初期に始まり、華やかな社交の場、娯楽の中心的存在として支持を得てきました。

2004年11月、その中でも、長い歴史と人気を誇る沙田競馬場が全面リニューアル。大成建設の施工によって、開閉可能な大屋根で覆われたパレードリング（パドック）が誕生しました。パレードリング、バルコニー、オーナーズパビリオン（馬主ラウンジ）などの諸施設を覆う大屋根は幅100m、長さ115m、頂点高さ55m。6対のマストと鉄骨メガトラスが、緩やかな弧を描くようにして大屋根を支え、ダイナミックな無柱空間をつくりあげています。ここでは出走馬の下見はもちろん、天候や目的に合わせた、多彩なイベントへの利用も可能となっています。大屋根をスムーズに開閉させるため、少しのたわみも生じないよう万全の注意を払い、高い精度で施工。ここにも大成建設の技術力がいかされています。

沙田競馬場は、2008年に開催される北京オリンピックの馬術競技会場になることが正式決定。香港の観光の牽引役として、ますます注目を集めています。



モダンに生まれ変わった沙田競馬場・パレードリング

進化する電子デバイス施設 「施設全体が精密環境装置」

システムLSIやフラットパネルディスプレイに代表される最先端の施設においては、より高度で精密な製造環境が求められています。技術革新のスピードが速まり、電子機器のライフサイクルが短くなるなか、従来のような施設と生産装置を個々に考えるアプローチでは、もはや最新のファシリティニーズに対応することはできません。大成建設では、「施設全体が精密環境装置」と捉え、プロセス・装置・施設を一体化したトータルエンジニアリングによる最適な構築手法をいち早く確立。より高水準な施設の構築を短工期・低コストで実現しています。

世界一の
施設



平面ディスプレイ 超先端研究センター

デジタル放送への移行にともない主流となりつつある大型フラットパネルディスプレイを低価格で製造するための研究開発が進められています。その研究を最適に推進するため、研究に悪影響を及ぼす微振動やノイズによる電源電位のゆらぎ・静電気、ガラス基板に付着する化学汚染物質などの“ゆらぎ因子”を徹底して排除。「施設全体が精密環境装置」として捉えることで、世界一の環境を実現しています。

世界初の
施設



富士通(株)三重工場に導入された、MiC免震システム

大規模な地震が予測される日本。地震のリスク回避は、企業経営の最重要事項です。なかでも、電子デバイス工場は精密機械などがあり、地震時には投資効果の高い免震システムの採用が最適です。MiC (Micro-vibration Controlled) 免震システムは、従来、両立が困難と言われた生産時の微振動制御と免震の両方を可能にした世界初のシステム。地震発生時の災害リスクを大幅に低減し、信頼性の高いデバイス施設を構築します。

主な施工中工事のご紹介

UNDER CONSTRUCTION



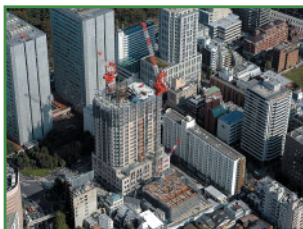
牛島再開発事業第2期工事
(愛知県名古屋市)



UAE パームジュメイラ
海底トンネル道路工事
(アラブ首長国連邦)



福岡外環状道路福大トンネル
新設第4工区工事
(福岡県福岡市)



南青山一丁目団地
建替プロジェクト
(東京都港区)



泊発電所3号機増設工事のうち
原子炉建屋他新築工事
循環水ポンプ建屋新築工事
海水淡水化設備建屋新築工事
取水設備工事
(北海道古宇郡)



(仮称)東京ミッドタウン
プロジェクト(B・E棟)新築工事
(東京都港区)

主な受注工事のご紹介

CONTRACTS RECEIVED

物件名	所在地	発注者
(仮称)汐留 I-2プロジェクト 新築工事	東京都	三菱信託銀行(株)
ソニーセミコンダクタ九州(株) 熊本TEC2号棟新築工事	熊本県	ソニーセミコンダクタ九州(株)
UAE アルマスタワー 新築工事	アラブ 首長国連邦	ナキール L. L. C.
白屋地区地すべり対策工事	奈良県	国土交通省近畿地方整備局
東海北陸自動車道 飛驒トンネル(その4)工事	岐阜県	日本道路公団中部支社

主な完成工事のご紹介

CONSTRUCTION COMPLETED

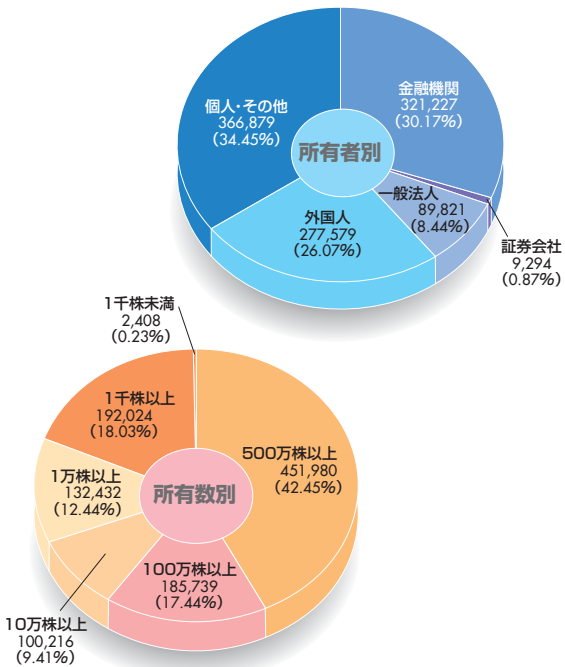
物件名	所在地	発注者
日本橋浜町三丁目西部地区 第一種市街地再開発事業 施設建築物建設工事	東京都	日本橋浜町三丁目西部地区 市街地再開発組合
長岡中央総合病院 移転新築工事	新潟県	新潟県厚生農業 協同組合連合会
大崎フロントタワー 新築工事	東京都	三菱地所(株)
泊発電所3号機増設工事 のうち土木準備工事および 関連除却工事(整地工区)	北海道	北海道電力(株)
ガーナ 幹線道路改修工事	ガーナ 共和国	ガーナ政府

株式の状況

1 株式の異動

会社が発行する株式の総数	2,200,000,000株
発行済株式総数	1,064,802,821株
当期末株主数	105,991名
当期中の名義書換件数	1,422件
当期中の名義書換株式数	31,171,869株

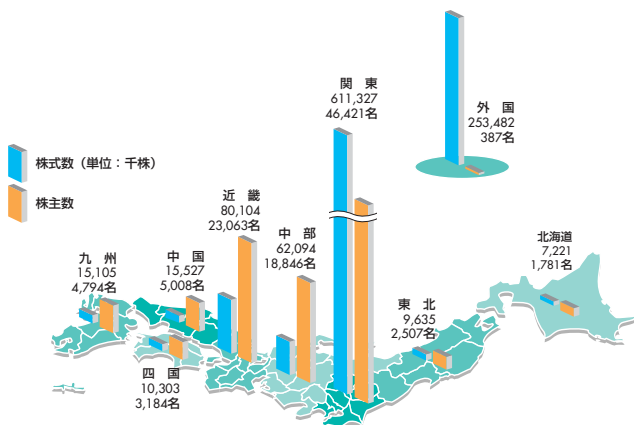
2 株式分布状況 (単位：千株)



3 株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	85,239	8.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	37,334	3.51
大成建設社員持株会	30,007	2.82
みずほ信託退職給付信託 みずほコーポレート銀行口	23,180	2.18
大成建設取引先持株会	21,437	2.01
三菱地所株式会社	17,604	1.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	16,115	1.51
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口	16,108	1.51
明治安田生命保険相互会社	15,741	1.48
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・リミテッド	14,912	1.40

4 地域別株式分布状況



会社の概要

(2005年9月30日現在)

商号

大成建設株式会社

(英文名 TAISEI CORPORATION)

設立年月日

1917年(大正6年)12月28日

資本金

112,448,298,842円

本店

東京都新宿区西新宿一丁目25番1号

新宿センタービル

電話03(3348)1111

従業員数 9,579名

支店

東京支店(東京都新宿区)

四国支店(高松市)

関西支店(大阪市)

千葉支店(千葉市)

名古屋支店(名古屋市)

関東支店(さいたま市)

九州支店(福岡市)

神戸支店(神戸市)

札幌支店(札幌市)

京都支店(京都市)

東北支店(仙台市)

国際支店(東京都新宿区)

広島支店(広島市)

中東支店(アラブ首長国連邦)

横浜支店(横浜市)

台北支店(台湾)

北信越支店(新潟市)

事業本部

住宅事業本部

技術センター(横浜市)

国内営業所等 69か所

海外営業所

ソウル営業所

香港営業所

フィリピン営業所(マニラ)

ミャンマー営業所(ヤンゴン)

クアラルンプール営業所

シンガポール営業所

ジャカルタ営業所

インド営業所(ニューデリー)

トルコ営業所(イスタンブール)

ヨーロッパ営業所(フランクフルト)

アメリカ営業所(カリフォルニア)

ペルー営業所(リマ)

役員（2005年10月1日現在）

●取締役

取締役会長	平島 治
代表取締役社長	葉山莞児
代表取締役	本田泰三
代表取締役	市川正美
取締役	鶴田宣彦
取締役	南部邦彦
代表取締役	詫間博康
取締役	園田邦之
取締役	増田光男
取締役	山田 浩
取締役	山内隆司
取締役	岡本 敦
取締役	関谷哲夫
取締役	山本恵朗

*関谷哲夫、山本恵朗は、商法第188条第2項第7号の2に定める社外取締役です。

●監査役

常任監査役（常勤）	潮田 徹
常任監査役（常勤）	田丸 浩
監査役	山本 正
監査役	樋口武文
監査役	岡村 甫

*山本 正、樋口武文、岡村 甫は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役です。

●執行役員

※社長	葉山莞児
副社長	早川正一
※副社長	本田泰三
※副社長	市川正美
※副社長	鶴田宣彦
※副社長	南部邦彦
※副社長	詫間博康
※副社長	園田邦之
専務役員	伊藤美喜男
※専務役員	増田光男
専務役員	奥村紘司
※専務役員	山田 浩
専務役員	萩原弘道
専務役員	岡崎洪太郎
※専務役員	山内隆司
専務役員	高橋大輔
専務役員	名和洋介
※専務役員	岡本 敦
常務役員	菊岡保人
常務役員	井川文雄
常務役員	小倉勝彦
常務役員	可児才介
常務役員	小林将志
常務役員	寺下 均
常務役員	五木田通夫
常務役員	鎌田 勝
常務役員	前田 誠
常務役員	山田潤二

常務役員	久間忠勝
常務役員	駒井勇夫
常務役員	藤原義弘
常務役員	木村洋行
常務役員	河村壮一
常務役員	市原博文
執行役員	中山靖之
執行役員	瀬川昌彌
執行役員	久保博司
執行役員	茂手木信行
執行役員	窪添貴治
執行役員	平野邦彦
執行役員	多田博是
執行役員	永嶋 功
執行役員	関 哲雄
執行役員	荒井康博
執行役員	阿久根操
執行役員	近江秀味
執行役員	吉田達夫
執行役員	小菅 誠
執行役員	古厩 孝
執行役員	尾形 悟
執行役員	井出光康
執行役員	関根 繁
執行役員	小野沢潔
執行役員	藤原基文
執行役員	吉田 明
執行役員	小島章伸

※は取締役兼務者です。

大成グループ企業

T A I S E I G r o u p

グループビジョン

CSを原点に技術とノウハウで
新しい価値を創造する企業グループ

■ 主たるグループ会社

大成ロテック(株) 東証1部上場

有楽土地(株) 東証2部上場

大成ユーレック(株)

大成設備(株)

大成サービス(株)

成和リニューアルワークス(株) ※2005年10月より、
成和機工(株)から社名変更しました。

ケーヨーリゾート開発(株)

大成建設ハウジング東京(株)

大成コンストラクション

有楽土地住宅販売(株) 他



大成コンストラクション
アメリカ建築家協会の「ゴールドナゲット賞」を受賞した
高級リゾート「カリスタガ・ランチ」



有楽土地(株)
首都圏最大のマンション建て替え事業である「オーベルグランディオ萩中」。
駐車場棟屋上には「セントラルガーデン」を設置(東京都)

じぶん色に仕立てる家。



GOOD DESIGN
AWARD 2005

建築・環境デザイン部門



進化した2×4住宅
空間王
IMAGINE
PLUS

外も内もグッドデザイン賞です。

「空間王 イマジン・プラス」と換気システム「タルカス」が

2005年度グッドデザイン賞を受賞。

「大成建設の家」だからなしたダブル受賞です。

23



GOOD DESIGN
AWARD 2005

新領域デザイン部門



エアリサイクル型換気システム
TARCAS

空気までデザインしています。

「タルカス」は「コンクリートの家」にはダクトレス方式、「木の家」にはダクト方式。それぞれに最適な給気方式を採用しています。

問い合わせ先

 0120-197-406

<http://www.homestyle.aisei.co.jp/>

大成建設株式会社 住宅事業本部

株主メモ

- 1 決算期** 3月31日
- 2 定時株主総会** 6月中
- 3 配当金**
利益配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
※利益配当及び中間配当は上記を基準日とする株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載又は記録された株主、登録質権者又は信託の受益権者にお支払いいたします。
- 4 上場証券取引所** 東京・大阪・名古屋
- 5 名義書換代理人
同事務取扱所
(郵便物送付先
及びお問合せ)** みずほ信託銀行株式会社
〒135-8722
東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社証券代行部
電話 0120(288)324(フリーダイヤル)
- 同 取 次 所** みずほ信託銀行株式会社全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社本店
及び全国各支店
- 手 数 料** ① 名義書換: 無料
② 株券再発行: 株券1枚につき210円
(消費税額等を含む) ただし、併合及び満欄の場合は無料
③ 単元未満株式の買取・買増: 株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額及びこれにかかる消費税額等の合計額
④ 株券喪失登録: 申請1件につき10,500円(消費税額等を含む)、喪失登録する株券1枚につき525円(消費税額等を含む)
- 6 公告掲載新聞名** 東京都において発行する日本経済新聞
※貸借対照表及び損益計算書掲載のホームページアドレス (<http://www.taisei.co.jp/>)

【お知らせ】

●配当金のお支払について

配当金のお支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。下記の配当金につきましては、お支払期限が迫っておりますので再度ご確認をお願いします。

(お支払期限)

・143期中間配当金: 2005年12月12日 ・143期利益配当金: 2006年6月30日

※振込方式による配当金の受領にご変更の場合は、同封の「配当金振込指定書」の裏面をご覧ください。



地図に残る仕事。

大成建設株式会社

〒163-0606 東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 電話03(3348)1111

<http://www.taisei.co.jp/>